



# 東郷小だより

第 3 2 号  
平成 30 年 1 月 18 日  
東郷小学校 校長室

## ◆へえ～、そうなんだ◆ 暮らしの中の税金を知る

税金はあった方が いい？ 無方が いい？



1月12日(金)、昭和税務署の職員を招き、6年生を対象に租税教室を行いました。

子どもたちは、「健康で豊かな生活をおくりたい」という、私たちみんなの願いをかなえるために、毎日の暮らしの中で税金がどのようなところで使われているのかを学習しました。

6年1組 古田琉星さんの感想です。

「ぼくは、税金についてもともとあまり知らなかったけれど、昭和税務署の方がとてもいいねいに説明してくれたので、税金についてよく分かりました。また、ビデオで税金のない世界を見せてもらったので、税金の大切さも分かりました。」

税金のない世の中は困ることも…



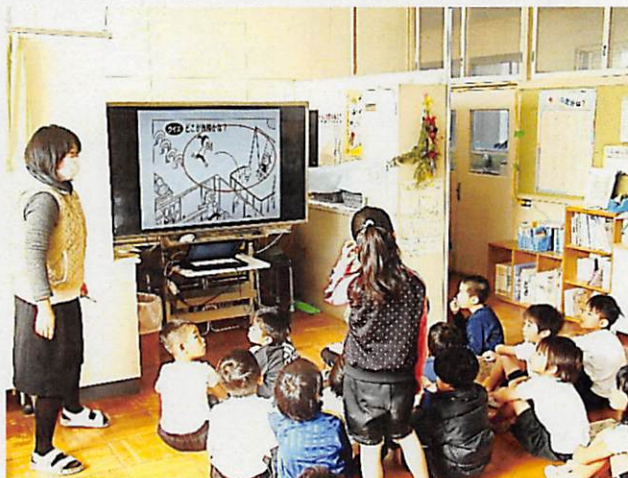
租税教室は、子どもたちに「税金がなければ、みんなが困ってしまう。だから、みんなで負担するものなんだ。」という意識をもってもらうために国税庁が開催しています。

## 危険を予知・回避 事故・けがの防止



1月10日(水)～18日(木)、学期初めの身体測定を行いました。

今回は、身長と体重の測定の他、事故・けが防止の一環として、「危険予知トレーニング(=KYT)」を行いました。(=下写真)



事故防止の第一歩は「危険」を知り、あらかじめ安全に対する心構えを持つことです。一般的に現代の子どもたちには、①生活経験や自主的集団活動の不足、②生活習慣の未定着、生活技術の低下、③子ども集団での伝承文化の欠落などの傾向が見られ、「危険予知」や「危険回避」能力の点で課題があると言われます。生活の中に隠れている「危険」が、事故・けがにつながらないように、子どもたちに危険を予知する力や危険を回避する力を育てていきたいと思います。

### ☆ あれから23年 ☆

1995年1月17日(火)の午前5時46分、阪神・淡路大震災が発生し、国内史上初の震度7が観測されました。東郷町では震度3程度でしたが、当時押草団地に住んでいた私も、揺れを感じて思わず飛び起きました。関連死を含めた死者が6,434人、住宅被害が約64万棟の大震災でした。

その後も、東日本大震災や熊本地震などの大地震が発生しました。日本に住む誰もが、一生の間に一度は大地震を体験しても不思議はないと思います。日頃から防災意識を高めておくことは大切なことですが、意識しなくても災害対策ができるよう、日常の生活で防災につながる習慣を身につけたいものです。